

「工場管理実践塾」成果報告会・概要紹介

当センターでは、本県のものづくり基盤を支える優れた産業人材を育成するため、製造業に特化した「いわてものづくりアカデミー」を開催しています。

その中でも「工場管理実践塾」は、集合研修の座学にとどまらず、参加企業の工場そのものを会場としてカイゼン活動を行う実践的コースであり、「ものづくりアカデミー」の目玉講座となっております。

約8ヶ月間にわたる長期研修では、5Sの定着方法、ムダ取りなど実際に現場カイゼンを行うための手法を体得する訪問研修や、講師によるフォローアップを行うことにより、各社の抱える課題の解決を図り、生産性が高く、競争力のある工場へのレベルアップを目指しています。

活動内容

今年度は平成21年5月26日から、(財)日本生産性本部の主席経営コンサルタント・武川俊幸氏と高田晴弘氏を講師に招き、3社7名の受講者により下記のとおり研修を実施しました。

●集合研修 (5/26～27)

主な内容 メーカーにおける収益構造変革の着眼点、現場改善の基本手法など、座学で実施

●訪問研修 第1回(6/24～26) 第2回(7/28～30) 第3回(9/28～30) 第4回(10/19～21)

主な内容 参加企業における具体的改善活動実施(5S改善、基礎データ収集方法、段取改善、在庫改善、工程の流れ改善、仕掛品削減、レイアウト改善、計画の見える化など、参加企業の課題に即したテーマを設定)

●フォローアップ 中間フォローアップ(8/27) 最終フォローアップ(11/18)

主な内容 各社作成したプロジェクト企画書に基づき、改善活動を継続して行うため、インターネット電話を用いた遠隔指導により講師が各社毎にフォローアップを実施



訪問研修



フォローアップ(講師による遠隔指導)

成果報告概要

成果報告会は平成21年12月17日に行われ、各社の受講者から、プレゼンテーション方式で成果報告がありました。報告会には受講者のほか各社の経営幹部など約30人が参加し、その報告内容に真剣に聴き入っていました。活発な質疑応答もあり、充実した成果報告会となりました。



成果報告会

各社の主な成果としては、

岩手東亜DKK(株)

イオン電極の
作業効率のアップと改善

⇒イオン電極本体のASSY化(受注生産化)により、1本あたり工数平均65分が32.7分(32.3分・49.7%削減)、組立リードタイム12日が4日(8日・66.7%削減)

(株)エヅリコエンジニアリング

板金工程の作業手順書作成の
生産性向上

⇒手順をビデオ撮影し、そのビデオを活用して作業手順書を作成することにより、手順書作成時間16時間が8時間(8時間・50%削減)

(株)小山田工業所

防火水槽製作における
前工程(製缶)の工数削減

⇒設計段階からR形状を考慮したピット部品にしてガス切断を無くする等により、主要タイプ:40時間53分が39時間44分(1時間9分削減)、別タイプ:52時間35分が51時間14分10秒(1時間20分50秒削減)

などが挙げられ、各社とも現場カイゼンが図られました。

今後、各社一丸となって今回の取り組みを定着・水平展開し、現場カイゼンを図りながら企業として更にレベルアップされることを期待しております。